

令和5年第9回大田市教育委員会定例会会議録

日 時：令和5年9月28日（木） 14時00分～15時05分

場 所：大田市役所2階第2会議室

出席委員：教育長 武田 祐子

委 員 梶 伸光、竹下ちとせ、仲野義文、岩谷律子、景山浩充

欠席委員：なし

傍 聴 者：0名

事務局出席者：

森教育部長 縄総務課長 川津学校教育課長 山根学事・魅力化推進室長

楫社会教育課長 大門石見銀山課長 後藤給食センター長

矢田山村留学センター長 白神人権推進係長

渡邊総務課長補佐 清水副主任（会議録作成者）

1. 開 会 （司会・進行 森 部長）

森 部長 令和5年第9回大田市教育委員会定例会を開催いたします。

2. 会議録の承認について

森 部長 令和5年第8回定例会会議録について、訂正等ございませんでしょうか。

委 員 （はい）

3. 教育長報告

森 部長 教育長報告に移ります。教育長お願いします。

教 育 長 （資料にて説明）

なお、資料には掲載しておりませんが、9月26日に鳥井地区へ説明会を出掛けています。そこで五十猛小学校及び鳥井小学校が静間小学校へ統合する旨を確約させていただいております。以上です。

令和5年9月教育長報告						
月	火	水	木	金	土	日
				1 来客:しまね自然子育てネットワーク 会長他 三役ランチミーティング(市長室) 政策企画会議 英語学力担当者意見交換会	2	3 家政学会セミナー(大森) 全国家政学会研究会・開会式・基調講演 家政学会意見交換会
4	5	6	7	8	9	10
家政学会セミナー(大森) ← ポーランド「タルノフスキ」祭 シンポジウム参加						
議会議場)～ 終了後:全協 議	答弁協議					
11	12	13	14	15	16	17
ポーランド「タルノフスキ」祭 シンポジウム参加						
				ポーランド帰国報告(市長) 事務局会 バーチャリオン オンライン会議		青年会議所主催 じゃぶじゃぶ池 しまね文芸フェスタ
18	19	20	21	22	23	24
敬老の日	決算特別委員会 来客:夜間中学校関係者役員 学力育成MTC	今後の学校のあり方に関する説明及び文部科学省協議(東京) 決算特別委員会			秋分の日	新川合小運動会
25	26	27	28	29	30	
		9月議会閉会 市議会全員協議会(学校のあり方) 臨時校長会	定例教育委員会			

森 部長 以上、教育長報告でした。9月25日には、私と縄総務課長で静間地区に出向き、五十猛小学校及び鳥井小学校が静間小学校へ統合する意向があるということをお伝えしました。地域の方々は統合について了承されました。また、9月30日には五十猛地区に出向き、統合について説明する予定です。
ご質問等ありませんでしょうか。

委 員 (はい)

4. 議題

森 部長 議第17号「令和4年度 教育委員会の事務に関する点検・評価について」

総務課長、お願いします。

縄 課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

梶 委員 資料の7ページ「学力・教育力向上プロジェクト事業」の今後の課題の部分において誤字がございます。また、17ページ「【再掲】スポーツ推進事業」は、16ページの再掲だと思いますが評価が異なっています。加えて、同ページ「大田陸上競技場公認検定事業」は今後公認の継続は行わないと記載されていますので、今後の取組としては“終了”の評価になりませんか。

森 部長 公認が終了するのが令和5年度9月です。そこまでは公認になっています。今回のものは令和4年度の評価ですので、記載のとおりの評価にしています。

森 部長 議第18号「大田市学校のあり方に関する計画等検討委員会委員の委嘱について」

総務課長、お願いします。

縄 課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

森 部長 議第19号「大田市特別支援連携協議会設置要綱の制定について」
学校教育課長、お願いします。

川津課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

森 部長 議第20号「相談支援チーム設置要綱の制定について」
学校教育課長、お願いします。

川津課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

森 部長 議第21号「医療的ケア運営部会設置要綱の制定について」
学校教育課長、お願いします。

川津課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

5. その他

森 部長 その他、報告事項に移ります。

①「9月大田市議会定例会における一般質問について」です。
総務課長お願いします。

縄 課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

森 部長 ②「大田市外国人児童生徒等日本語指導協力員配置及び派遣事業」
要領の制定について」です。
学校教育課長お願いします。

川津課長 (資料により説明)

森 部長 意見等ございませんか。

委 員 (はい)

森 部長 ③「差別発言事象について」です。
人権推進課お願いします。

白神係長 (資料により説明)

森 部長 市の派遣職員が在籍する団体であるため、事象が発生した際、差別事象対応マニュアルに沿って速やかに人権推進課に報告することがなされていなかったことが問題点の一つです。部落解放同盟とは大田市長との確認書に加え、大田市教育委員会としても確認書を交わしております。多様性が尊重される時代になっておりますので、過去に交わした確認書も見直していこうということであり
ます。

意見等ございませんか。

仲野委員

内容がかなりきつい印象です。加えて、発言された方の年齢からすると、学校できちんと人権同和教育がなされているので、このような発言はなかなか出てこないと思います。それでもこのような発言が出てくるということは、この方がどのような精神状態だったのか、部落問題に対してどのような認識があったのか、ということを引ききちんと調べないといけないと思います。擁護するわけではないですが、市自体は人権同和教育問題を取り扱う研修を行っているので、人権問題に対する意識付けを全くやっていないということではないですが、やり方などを今後考えていく必要があると思います。知識の理解というよりも、差別の現状や実態というものを理解して、心に訴えていくような研修が必要だと考えさせられました。次回の定例校長会でもこのことについて説明を行い、今一度意識を高めていかないといけないと思います。

森 部長

森 部長

④「市町村教育委員会協議会の報告について」です。

6月末から9月にかけて教育委員の皆さんにご参加いただきました。それぞれに参加された感想などをいただければと思います。景山委員からお願いします。

景山委員

私はいじめ・不登校に関することと、部活動の地域移行について参加しました。いじめ・不登校に関することについて印象に残っていることは、今の子どもは自分たちで問題を解決する力が少ないという意見です。それを養うために、学校教育の中で具体的な事例を用いて実践することが必要ということです。

部活動の地域移行については、まだどの地域もそこまで進んでいないようでした。その中でも進んでいる地域は、平日は学校で部活動を行い、土日は剣道と陸上のみ地域に任せて行っているようです。どの地区にも課題はありますので、できることからやってみることが大切だと感じました。

岩谷委員

私は、まず働き方改革についてグループ協議を行いました。大田市の問題としては、教員不足により超過勤務が増えて働き方改革につながらないということを含めながらお話させていただきました。そのような現状は他の参加団体のところでもあるようで、なにか改革をしようと思っても教員の意識改革が出来ずなかなか進まないという意見が多かったです。奈良県生駒市では、様々な無料アプリを駆使して、子どもたちの出欠確認や健康状態の確認をペーパーレスにしていくとか、教育委員会から学校に配布するものや、学校から保護者に配布するものをどんどんペーパーレスにすることを進めているということがありました。

二つ目は学校と地域の連携についてグループ協議を行いました。大田市からは教育魅力化グランドデザインを資料としてお示したところ、どの市の方も非常に興味を持たれました。0歳から18歳までの目当てを決めながら地域と連携して取り組もうとしている姿が大変すばらしい、参考にしたいというご意見をいただきました。

森 部長 梶委員は都合により参加が難しいとのことでした。仲野委員お願いします。

仲野委員 私はいじめ・不登校についてと、地域との関わりについて協議を行いました。同じグループには大阪府泉佐野市の教育長が参加されており、重要事案の対応についてお話を聞かせてもらいました。ただ、基本的にどこの教育委員会の対応も、大田市教育委員会が行っている対応と変わりはないと感じました。

地域との関わりについては、コミュニティ・スクールのお話が出てきました。比較的小さな町の場合は、コミュニティ・スクールを実施する以前から地域と学校の関わりが密であり、既に前提があったということから、小さな町は学校と地域との結びつきが強いと改めて感じました。また、千葉県君津市はこれから実施していくとのことでしたが、一つの学校に一つのコミュニティ・スクールではなく、複数の学校で一つのコミュニティ・スクールにするという話が出ていました。これから学校再編の話が出てくると、一つの学校または一つの町で一つのコミュニティ・スクールという形は今後取れなくなるので、これから学校再編を迎える地域においては興味深いところだと思いました。

竹下委員 私はいじめ・不登校と部活動の地域移行について参加しました。いじめ・不登校については、あすなろ教室を中心とした教育支援の状況について説明させていただきました。他の地域ではいじめに対するチェックリストを全職員に配布し、いじめに敏感になるような取り組みをしているところもあり、そのようなものを活用しながら子どもを見るということは必要なことだと感じました。

部活動の地域移行については、地域によって進み方が全く異なりました。一番進んでいるところでは、総合型の地域クラブというものが、いずれはそこに集結していくような考えで進めているところがありました。進んでいないところは人手不足や組織がないという問題を、手探りで進めている状態のようです。

一方的な研修だと自分の中に何も残らないというものが多いですが、今回のように自分で資料を準備して説明して、他の地域の状況も聞くと一気に情報量が多くなり、今後様々なことを考えるのに非常に参考になると感じました。

教育長 私もこの度は都合により参加できませんでした。いただいたご意見の中で、子どもたちの解決力が低下しているということはSSTのことで、これは大田市の子どもたちにも当てはまると思います。また、竹下委員がおっしゃったように、喫緊の教育課題について、大田市はどうなっているのかという実態を共有する時間があっても良いと感じました。それから地域連携のところで、複数校でのコミュニティ・スクールについて話がありましたが、小さい地域で運営協議会を開こうと思うと、小学校と中学校で同じ方が複数の学校の運営協議会に出席するということが発生しているようです。そのため、一度大きな枠組みで組んでみることも提案しましたが、その時は学校として話したいこともあるということで実現しませんでした。しかし、いよいよそのような時代になってきたので、学校再編に向けて積極的に提案していく必要があると感じました。

森 部長 部活動の地域移行は、教職員の働き方改革が一つ大きな背景にあります。大田市教育委員会も部活動のガイドラインを作成し、土日のどちらかと月曜は休みにするというのでやっております。先般第一中学校野球部が全国大会に行きましたが、ガイドラインをきちんと守った上で3位という結果を出しましたので、きちんと休みをとったほうが結果はついてくるという見方もあるということをお伝えさせていただきます。

6. 閉 会

森 部長 本日予定しておりました定例会としての議第、報告事項については以上でございます。

次回は、10月26日（木曜日）13時00分からになります。
第9回の大田市教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上の会議録は、第9回の会議録として承認した。

令和 5 年 11 月 28 日

教育長 武田 祐子

委員 梶 伸光

委員 竹下 ちせ

委員 仲野 義文

委員 岩谷 律子

委員 景山 浩光